

横芝の碑

(その六十八)

真心影流正統武人の碑

横芝町史の五四二頁を開いて見ますと、白髯の偉丈夫が紋付の羽織袴で威儀を正しています。

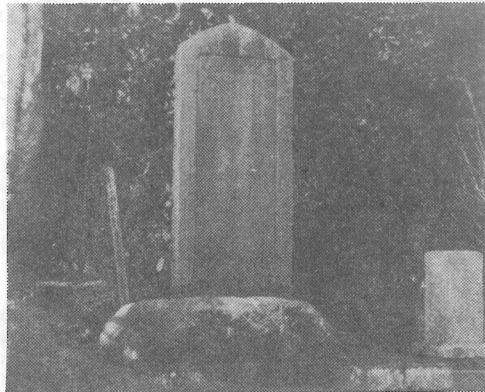
これは、わが郷土が誇る真心影流第十六代正統者、川島堯龍雲先生在りし日の英姿です。そして、先生の偉業を後世に伝える碑が、門弟並びに先生の徳を慕う人々によって、先生出生地北清水不動院の境内に建立されています。表面には武人ノ碑と題字の下に、

郷土ノ偉人川島堯、明治十六年四月此地ニ生レ昭和三十三年八月此ノ地ニ没ス

幼少ヨリ文ノ海保漁村ニ比肩スル武人タラムト志シ二十余歳ニシテ一刀流及ビ不ニ心流ノ免許ヲ得タリ、二十九歳ノ春台湾警察剣道師範トシテ赴任スルヤ益々難業ヲ積ミ弟子ヲ持ツモ自ラハ幕末ノ劍豪信太歌之助ニ師事シ尚苦業ヲ重ネタリ、心ハ赤誠至純生来非凡ノ力量ハ連続七十人ノ門人ニ対シ些カモ呼吸ヲ乱サズ、弓ハ寸弓ヲ引キ今為朝ト称セラル、既ニ台湾ニ比肩スル剣士無ク弓亦武徳会範士トナルモ己ヲ持スルニ最モ厳正道ヲ学ムルニ最モ懸命ナリ、直心影流十五代山田次郎吉ニ入門遂ニ武

道ノ真髓ヲ得 請ハレテ同流十六代ヲ継グ

文武両道ハ日本人ノ道也、武道ハ元ヨリ競技ニ非ズ、戦後道徳ノ混乱セル日本ノ将来ヲ思フトキ武



▲ 武人、川島堯先生の遺業を伝える碑

藤要、林義郎、井上新太郎、並木靖、大橋恒治、石橋恒一、安井正行、作田守康、伊藤雅之、秋葉隆昌)と、賛助者十名(浅野清、伊藤馨、斎藤元一、平山喜代治、芹川昌栄、伊藤孝、秋葉堯、秋葉信夫、伊藤一、宇都木昭三)計二十三名の皆さんの氏名が刻まれています。この方々の殆んどは、過去に又は現在、それぞれの社会で衆望を集めて活躍されていること等を考えて見ましても、先生の信望と人徳が推察できると思います。

流派秘伝書に深慮

先生は、横須賀海兵団兵役中に既に一刀流の免許を受け、除隊後の三年には郷里で不ニ心流の免許を得ています。そうした実績と技量を認められて、台湾

道ニヨリ後進ヲ善導セムト無一物ノ引揚者時ニ糊口ニ窮スルモ尚無刀ノ剣ヲ奮ヒ無弓ノ弓ヲ引ク 七十三歳ノ生涯ハ真ノ武人也 此ノ偉大ナル先人ノ足跡ヲ後世ニ伝フベク有志門人集ヒテココニ建碑ス と、先生の生涯七十三年の武人としての足跡が刻まれ、裏面には門弟と思われる発起人十三名(大西英隆、伊藤竹松、川島栄太郎、斎

の警察官武道師範として迎えられる、武人川島の名声を博しましたが、聊かも著ることなく、却って「武道の蘊奥に果てはないもの」と、真心影流十五代正統者、山田一徳翁の門を叩き只管に武道に励んだのですが、元より素養も蓄積されていきましたので、忽ち技量は群を抜き、十六代後継者としての呼声が高く、恩師山田一徳翁も又同じ考えて、

伝承の要請を勤めましたが、先生は「未塾の由」を以って断っていました。しかし、再三の恩師の懇請に従い、遂に真心影流第十六代正統者となったのです。その時、先生は一つの申し入れをされたのです。それは「自分は海を渡った台湾に奉職する身であるから、万一を慮り秘伝書は内地の誰かに託したいということでした。よもや、とは思いますが、一徳翁は内弟子の大西英隆を推してその委託を認めたのですが、其後、敗戦を迎えた時、台湾に進駐した連合軍は、刀剣類は勿論、弓を除いた武道書も殆んど取上げて焼捨ててしまったので、若し、先生の深慮が無かつたらば、流祖 松本備前守、二代 上泉伊勢守、新しくは十三代、男谷下総守等々連綿として伝えられて来た流派秘伝書も焼滅していた筈で、同流関係者は今更の様に先生の遠謀に感謝している、ということです。

郷土に生きる

武道の心

終戦後、名実共に裸一貫で故郷北清水に戻られた先生は、郷土の人々特に青少年の、荒んだ、又沈滞した気持を憂い、これを喬すのはやはり武道の心、という信念を以って細かながら弓の射場を造って青少年に働きかけ、又柔道の技を

生かしては、挫傷の手当や、時には若妻に老人向の揉療治の初歩を教える等、自ら地元の人々の中に融け込んでの生活に勤しまれたのです。中には「先生のアンマはよく利くから」と、頼みに来る人も増え、弓道範士、真心影流の正統者であることを知る人々が傍でハラハラする場面もありましたが、先生は「よし、よし」と気速に施療に応じられ、身分等についてはその片鱗さえも見せませんでした。

先生の訃報は、門弟の人達ばかりでなく、先生に一度でも接したことのある総ての人々を悲しませ誰もが心から先生の冥福を祈ったということでした。

○写真は、武人の碑で、先生逝いて二年后、昭和三十五年の命月に本文前記の方々によって建立されたものです。尚、茨城県鹿島神宮の境内(坂下の池の周辺)の碑にも、真心影流十六代正統川島堯の名が刻まれているということ。(本稿取材に当り、小高猶次氏、伊藤裕之氏の御協力があつたこと及び、並木靖著「勝海舟の原点」を参考にしたことを併せて申添えます。)

尚、北清水不動院は著名な寺であり、碑は門を入ってすぐ左手でよく分かりますので、案内図は省略させて頂きました。文化財審議会委員 小沢春光氏寄稿